

令和 5 年度		3 学年		商業 科	
教科名	地理歴史	科目名	世界史A		2 単位
		担当者	鈴木 良		
<b>1. 学習目標</b>					
世界の歴史の大きな枠組み・流れと文化の多様性・複合性を、我が国の歴史の展開との関連に留意しながら考察することによって、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
<b>2. 使用教材等</b>					
・教科書名 『明解 世界史A』 【帝国書院株式会社】					
・副教材名 『プロムナード世界史』【浜島書店】					
<b>3. 学習項目 (学習内容)</b>					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	1部 世界の一体化と日本 1章 前近代の諸文明 序説 人類の始まり	1節 東アジアの文明	20	中間考査
	5		2節 南アジアの文明		
			3節 東南アジア		
			4節 西アジア・北アフリカの文明		
6	5節 ヨーロッパの文明	期末考査			
7	6節 南北アメリカの文明				
	7節 ユーラシアの交流圏				
2	8	2章 一体化に向かう世界	1節 繁栄するアジア 2節 大航海時代と新たな国家の形成	27	中間考査
	9	3章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺	1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命		
	10		2節 自由主義・ナショナリズムの進展		
	11		3節 アジア諸国の動揺		
	12	4節 東アジアの大変動	期末考査		
12	2部 地球社会と日本 1章 現代社会の芽生えと世界大戦	1節 現在につながる社会の形成			
3	1	2章 冷戦から地球社会へ	2節 第一次世界大戦がもたらしたもの 3節 “民族自決”を求めて 4節 経済危機から第二次世界大戦へ	23	期末考査
	2		1節 冷たい戦争の時代 2節 冷戦終結への道のり 3節 地球社会への歩み 4節 持続可能な社会をめざして 事例1 フランスから送還されたロマの人々 事例2 よみがえる伝統工芸 “ノクシカタ” 事例3 ピョートル大帝の夢と枯渇する大アラル海		
	3				
<b>4. 評価の観点</b>					
①関心・意欲・態度	世界史Aの基本的な問題に関する次項への関心を高め、各事象を多角的・総合的に考え、社会への参加・協力する態度を身につける。また、人間としてのあり方について自覚を深めようとする。				
②思考・判断・表現	世界史Aの基本的な問題についての課題を見いだし、幅広い見地に立ち考察し、公正に判断する力の基礎を身につける。				
③資料活用の技能	自ら見いだした課題について、多様なメディアを用い情報を収集・選択し、考察した結果を表現する。				
④知識・理解	現代社会の問題と人間のあり方についての基本的事項を理解・定着させている。				
<b>5. 評価の方法</b>					
①出欠席・遅刻・早退（日々の授業に対する参加状況）					
②授業への準備の状況、授業時間内の学習内容の整理状態（日々の授業における取り組み状況）					
③各定期考査及び小テストの得点（日々の家庭学習の状況・基本的事項の定着度）					
④課題の達成度・提出状況（長期休業中などの家庭学習の状況・成果）					
<b>6. 学習にあたっての注意とアドバイス</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホの使用、私語、授業中の立ち歩きは禁止です。授業規律をしっかりと守ってください。</li> <li>・授業開始に遅れないよう、教材を準備して、チャイム時には着席をしてください。</li> <li>・予習と復習をしっかりと行ってください。</li> <li>・日々のニュースを新聞、ラジオ、テレビなどでしっかりと入手してください。</li> </ul>					